

令和7年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザPDCAシート\_公表用  
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

○当地区の総人口は2023年度に続き、2024年度も減少し、一方で高齢化率は17.79%と増加傾向です。相談件数は年々増加し、フレイルから介護申請する高齢者が多いですが、ケアマネジャー不足により、要支援認定の方に必要な介護予防ケアマネジメントに待機者が出ている状況です。また、介護保険に代わる地域の社会資源(老人会・サロン・ボランティアグループ等)も減少しており、高齢者の孤立が深刻化しています。地域包括支援センターとして、様々な場でエリアの現状をお知らせし、出張講座や地域ケア会議などを通して、住民主体の活動継続やニーズに合わせた資源開発を支援します。

○当地区は、青葉区内で最も成年後見制度の申請件数の多い地域です。時代や社会の変化の影響もあり、家族・親族関係が疎遠・絶縁等の事情によって身寄りのない高齢の方が増加に加え、昨今は8050ケースの相談も表出化しています。そのような対象者・世帯に対し、適切な意思決定・権利擁護支援を実施していきます。

○高齢者人口増加に対し、支援者が不足しており、支援需要に供給が追いついていない状況です。持続可能な支援体制を構築するため、支援者間のネットワーク作りや業務効率化の仕組み作りを進めていきます。

○健康意識の高い地域性のため、「ポジティブエイジング」の考えや自己免疫力の大切さを広め、健康長寿に対する意識がより高まり、健康寿命の延伸のための介護予防活動を実践していきます。そのためにも、近隣の医療機関や企業、民間事業所とも連携・協力体制を推進し、活動に取り組んでいきます。

○認知症支援として、地域住民と協働しながら、チームオレンジの活動を進めていきます。

○駅に隣接している好立地のため、高齢者の来館も多いケアプラザですが、近年はADL低下等で駅まで来るとも困難な高齢者が増加しています。自治会域の中で気軽に「集う場」「通う場」を増やす取り組みを実施していきます。

○当地区は、子育て世帯が多く在住し、駅から雨にぬれずに通える立地のケアプラザであるため、親子が気軽に立ち寄りやすい場所を提供し、親子で参加できる事業も展開していきます。育児に不安をかかえていても助けを求められない、子育てをタスク化し達成できず悩まれ劣等感を抱く子育て世代が増えています。今年度は親子向け講座開催と並行し、同じ悩みを抱える親同士の交流の場や、個々の悩みを相談できる場を作ります。また、お子さんの不登校やヤングケアラー事業も相談に上がってきています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山内地区・美しが丘地区ごとにエリア担当を設置し、地区サポートネット推進会議や自治会活動への積極参加を通して、包括支援センターの機能周知や、地域との関係構築をします。</li> <li>・エリア毎に地域アセスメントを行い、個別レベル地域ケア会議を開催します。</li> <li>・包括職員、生活支援コーディネーターそれぞれが把握している地域資源や通いの場の情報などを共有し、社会資源開発のためにデータを有効活用いたします。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の意思決定・権利擁護支援を推進していくために、神奈川県弁護士会やリーガルサポート、コスモス成年後見サポートセンター神奈川、ばあとなあ神奈川等の後見人業務を担う各種団体とのネットワーク構築の推進や、青葉区役所、在宅医療連携拠点、青葉区成年後見サポートネットとの関係性を強化し、支援を必要とする人を適切に制度やサービスに繋げていきます。また、青葉区ケアマネジャー連絡会に加え、青葉区訪問看護連絡会や青葉区通所介護連絡会等の各職能団体に対しても、高齢者虐待防止研修等の開催をすることで、高齢者虐待防止のため、早期発見早期対応のネットワークを構築していきます。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括主マネ多職種連携チームとして、職能団体の立ち上げや、運営の後方支援を行います。</li> <li>・多職種連携推進のため、関係機関と連携して交流会を企画いたします。</li> <li>・業務効率化のため、地域レベルでのケアプランデータ連携システム導入を支援いたします。また、ケアマネジャー連絡会の連絡ツール改善の取り組みとして、クラウド型の業務管理プラットフォームを採用して、地域包括支援センターの情報連動の構築支援をいたします。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けに介護予防や健康づくりの意識を啓発するために、介護予防講座を開催いたします。今年度は民間企業と連携し、免疫ケアをテーマに口腔・栄養講座を開催し、健康寿命の延伸に向けた取り組みを行います。また、前年度に続き男性向けの介護予防講座を開催し、高齢男性の地域参加を促進します。</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームオレンジの活動として、地域で活動するグループと協働し、認知症の人が安心して自分らしく暮らせる地域作りを目指して、ケアプラザがコーディネートを行います。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度たまプラーザ団地集会所で実施した自主事業「火曜に団地でうたう会」を、住民が継続したいと思えるように参加者にアンケートを実施しました。その集計結果を講師と協議して、プログラムの内容を工夫して2024年度に開催しました。今年度はその内容を継承し、次年度に向け、住民主体・自治会域の高齢者が「通う場」となるよう運営を推進していきます。</li> <li>・美しが丘地区・山内地区で地域の活動拠点設置に尽力し、高齢者の誰もが参加できる「たまり場」「通いの場」を増やせるよう努めます。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援強化室(通称:ぶらざらむ)が設置されているケアプラザとして、従来通り運営してきた親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業を継続し、乳幼児とその保護者が安全に過ごせる場を提供していきます。その中で、育児に不安をかかえる親御さんやお子さんの発達についての相談を適宜受けられるよう、保育士資格をもつ専任スタッフが相談に対応し、必要に応じて関係機関につなげていきます。更に、地域内の子育て支援事業所と連携し、「スマイル♡ファミリー」内で子育て相談の機会を設け、個別ケースの支援にも対応していきます。また、親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業に連結して、「親子リトミック」「おはなし会」「ねんね講座」等、お子さんの成長に合わせたプログラムを提供し、保護者同士が学びあえる事業も展開していきます。</li> <li>・2024年度開催の「子どもの居場所づくりボランティア養成講座」参加者への支援を継続して、地域住民主体の「子どものサードプレイス」立ち上げを目指します。</li> </ul>

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年、2025年は団塊世代が75歳以上の後期高齢者となり、地域を取り巻く環境も変化を迎えております。これまで地域活動(ボランティア)に積極的だった方々も、高齢化に伴い、介護保険制度に頼らざるを得ない状況となり、地域活動の役員(自治会・民生委員等)の担い手も不足気味になってきています。

一方で、地域の高齢化に対し、フレイル予防は強化は欠かせませんが、行政・社会福祉協議会、地域ケアプラザ(地域包括支援センター)等の専門機関だけで支援していくには限界があり、「地域包括ケアシステム」をより一層推進させていく必要があります。

また、地域ケアプラザは、高齢者のみならず、様々な世代を対象にした課題感を解消していく役割があるため、重点的に支援を必要とするところから着手して事業等を行ってまいりました。

昨今、増加している8050ケースや親亡き後の要支援ケース、ダブルケアケース、家庭内暴力ケース等の複合的課題を有するケースの支援に際し、関係機関と幅広く連携して、事態の改善、支援に繋げていきました。

支援が必要なお子さんにはインフォーマルサービスを含め関連機関と連携して取り組み、子育て支援事業も多岐にわたり展開してまいりました。

ケアプラザ(地域包括支援センター)の役割としては、関係機関への支援もあります。今年度は福祉用具連絡会の立ち上げ支援を行い、多職種向け福祉用具合同展示体験会の企画や訪問介護連絡会再興支援を行いました。介護保険事業者の業務効率化が謳われている「ケアプランデータ連携システム」の研修を青葉公会堂で開催して、当ケアプラザ職員がパネルディスカッション座長を担い、事業者がシステムの導入を検討する機会を推進しました。

高齢者支援としては、まず、介護予防事業の充実を図りました。民間企業や通所介護事業者などと連携して、転倒リスクや栄養の適正摂取などフレイル予防の重要性を参加者に伝えてまいりました。口腔講座では、声優や歯科医を講師に招き、表情筋と滑舌のトレーニングや健診の重要性について話していただきました。認知症予防の取り組みについても、認知症予防カフェの定期開催、認知症への理解や啓発を目的としたシンポジウムの開催を行ってまいりました。

子育て支援については、定期開催している親子のあそび場「スマイル♡ファミリー」事業内で、地域支援団体や子どもの訪問看護ステーションにお子さんの様子を見ながらミニ相談会を実施しました。昨年度に開催した「子どもの居場所作りボランティア講座」参加者の有志で、今後の方向性や活動を話しあうミーティングを継続して行い、当地区に必要なサードプレイス構築に向けて準備を進めております。

区からのコメント

・各事業等を通じ、身近な相談先としてケアプラザの周知を広く行ってまいりました。また、地域交流コーディネーターと包括間での連携が図られており、日頃の業務で把握したニーズ・相談をうまくつないでいると感じます。8050世帯をはじめ、複合的な課題を抱えた支援困難なケースにも、幅広い関係機関と連携して対応しています。今後も引き続き、関係機関と連携をはかりながら相談対応していただければと思います。

・地区サポートチーム会議や地区別推進会議、地区別子育て支援ネットワーク連絡会の中で、地域ケアプラザが把握している地区の親子の姿や子育て情報などを情報共有しています。ともに地区の子育て支援について話し合い、考えることで地区の課題を共有することができています。

・5職種が定期的な情報交換や課題分析をおこなっており、新たな事業の展開に役立てたり、運営協議会で地域と共有しています。

また、地域団体との共催事業等、幅広く活動支援に携わり、情報の共有をしていました。引き続き、場を活かした情報共有や相談支援を続けていただくようお願いします。

民間企業や通所介護事業者と連携し体力測定や栄養講座を実施したことで、フレイル予防の重要性を参加者へ伝えることができたと思います。

来年度は運動機能の向上・体力維持を意識し、一緒に連携して取り組んでいただければと思います。

・地域ケアプラザで把握された養育者で支援が必要な家庭について、必要時情報提供いただいております。区の支援に生かすことができています。

今後当課が地域における子育て支援の基盤づくりをするにあたり、子どもの居場所作り等子どもに関する事業展開について、情報共有いただくとともに地域の社会資源についてともに考えさせていただければと思います。

令和7年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	<p>○地域住民からお問合せがあった際は、丁寧かつ公平中立に対応します。</p> <p>○介護保険サービスに関する利用希望があった際、介護サービス事業者ガイドブックの内容に基づいて複数の事業所を提示します。</p> <p>○居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所等を仲介・調整する際、本人、家族には各事業所の特徴や内容、所在地等の情報を伝えた上で、本人、家族に選定していただきます。本人、家族の意向を尊重して、特定の事業所にサービス提供依頼が偏らないように公正・中立性を確保します。</p> <p>○ケアプラザ貸館については、施設利用マニュアルを遵守し、公平性をもって施設管理運営を行います。利用希望が競合する場合には公開抽選をもって公正中立的に対応します。</p>	<p>○事故対策については、緊急時の対応マニュアルを整備して全職員でいざというときに備えておきます。所内で「安全管理委員会」を設置して定期的な会議を実施し、全職員で事案の検証と設備点検作業を行います。都度発生した「インシデント・事故」については事故報告を各所に迅速に行い、全職員で振り返りと同じ事案が起こらないよう対策を講じていきます。</p> <p>○個人情報保護については、「個人情報保護に関する規程」を定め、職員に遵守することを義務付けます。個人情報保護研修は年に1回の開催を必須とし、個人情報の取り扱い方や自主点検を行い、漏えい事故防止に努めます。個人情報をFAX送信する場合は、個人情報部分を必ずマスキングして、誤送付誤送信しないよう、必ず複数名で確認します。</p> <p>○備品管理については、当ケアプラザにおいて経年による備品の劣化が出てきており、来館ご利用の方を含め、職員にも備品を大切に使用していただくよう、気を付けていきます。また、破損等が生じた場合は、安全性と利便性を考え迅速に代替えを検討します。</p>
実績	<p>○地域住民からの相談に対し、常に公平・中立な立場を堅持し、迅速かつ丁寧な対応に努めました。</p> <p>○介護サービス情報の提供については、特定の事業者に偏ることなく、ご利用者が自ら選択できる環境を提供しました。「介護サービス事業者ガイドブック」を常に活用して、相談時には複数の事業所を提示し、それぞれの特徴(サービス内容、費用等)を説明しました。</p> <p>○居宅介護支援事業所やサービス事業所との調整においては、ご利用者の意向を最優先とし、選定プロセスの透明化を図りました。事業所決定にあたっては、所在地やサービスの特徴を提示して、ご本人・ご家族による「自己決定」を支援しました。特定事業所への紹介件数が過度に集中していないか、定期的なモニタリングを実施しました。最終的な事業所決定はすべてご利用者・ご家族の同意に基づいて行われ、特定の事業所への不自然な偏りが無いことを確認しました。</p> <p>○ケアプラザ施設の利用においては、すべての利用希望団体に對して平等な機会を提供しました。「施設利用マニュアル」に基づいた受付業務を徹底し、例外的な取り扱いはありません。利用希望が重複したケースにおいては、「公開抽選」を実施し、公平に利用団体を決定しました。施設利用に関する不公平感の訴えはなく、ルールに基づいた透明性の高い運営を達成しました。</p>	<p>○令和7年度中は大きな事故もなく、軽微なインシデントは職員間で共有して、事故を起こさない意識を高めました。</p> <p>○全職員を対象とした個人情報保護、接遇およびコンプライアンスに関する内部研修を年1回実施して、相談受付時には傾聴を徹底し、個人の価値観を尊重した支援を行いました。相談窓口における不適切な対応や、特定の意見への偏りに関する苦情・トラブルはありませんでした。</p> <p>○備品管理については、今年度、当ケアプラザの備品の劣化が激しく、特に多目的ホールに設置の椅子が耐用年数を超過破損してきております。開設から12年以上経ち、備品を大切に使用しているものの、経年劣化は否めません。適宜、青葉区役所管課と相談しながら、ご利用者の安全第一に考え、環境整備を行ってまいります。</p>

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>○地域包括支援センター職員や介護予防プランナーが、ご利用者に寄り添い、ご利用者が望む自立した在宅生活が送れるよう、介護予防ケアマネジメントを行います。</p> <p>○担当地域のケアマネジャーが、ご利用者の自立に向けた介護予防支援・ケアマネジメント業務が行えるように、研修やケアプラン検証、個別相談などを通して支援します。</p> <p>○介護予防を受託可能な事業所が減少している現状から、インフォーマルの社会資源を紹介し、積極的にケアプランに位置付けてもらえるよう、ケアマネジャーへ周知してまいります。</p>	<p>○ご利用者の心身の状況やご意向に応じて、望まれる在宅生活の実現を支援し、適切なサービスが利用できるようケアマネジメントを行います。</p> <p>○ご利用者の多様な疾病や生活環境の変化に応じた、きめ細かなサービス(フォーマル・インフォーマル)を調整してまいります。</p> <p>○地域包括支援センターと連携して、地域課題を含め対応困難な事例にも積極的に取り組んでまいります。</p> <p>○ケアマネジャー連絡会、包括カンファレンス、法人内の勉強会への参加、及び他の居宅介護支援事業所との事例検討会を実施し、ケアマネジメントの手法について、職員個々のスキルアップに努めます。</p> <p>○一人当たりの給付管理数、常勤換算40件を目指し、加算がとれるケースは確実にとり続けた収入の安定を図ります。</p> <p>○ケアマネジメント業務の中で、ICTを活用できる部分を検討し、業務の効率化、関係者間の情報共有の促進、連携の強化を図ります(書類の作成・管理、ケアチーム内での情報共有、多職種連携、ケアプランデータ連携システムの導入等)</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	職員計6名(管理者1名含む) 看護師1名、ケアマネジャー1名、社会福祉士2名 介護予防プランナー(ケアマネジャー・看護師)2名	ケアマネジャー(管理者1名含む)計4名 (常勤兼任2名、常勤専従1名、非常勤専従1名)
契約者数	184	119

令和7年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,495,474		21,495,474	20,870,266	625,208	横浜市より
内 受領額	21,495,474		21,495,474	21,495,474	0	
内 戻入額				△ 625,208	625,208	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	350,000		350,000	446,660	△ 96,660	
雑入	30,000	0	30,000	15,263	14,737	
内 印刷代			0	0	0	
内 自動販売機手数料	30,000		30,000	15,263	14,737	
内 その他			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
収入合計	21,875,474	0	21,875,474	21,332,189	543,285	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,268,000	0	12,268,000	13,252,108	△ 984,108	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	11,100,000		11,100,000	11,986,421	△ 886,421	
内 社会保険料	980,000		980,000	992,339	△ 12,339	
内 手当計			0	86,848	△ 86,848	
内 健康診断費	45,000		45,000	45,397	△ 397	
内 勤労者福祉共済掛金	43,000		43,000	42,125	875	
内 退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	98,978	1,022	
内 その他			0	0	0	
事務費	2,540,000	0	2,540,000	2,449,150	90,850	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	50,000		50,000	14,373	35,627	
内 消耗品費	300,000		300,000	421,445	△ 121,445	
内 会議随時費	30,000		30,000	47,085	△ 17,085	
内 印刷製本費	220,000		220,000	166,926	53,074	
内 通信費	530,000		530,000	353,028	176,972	
内 使用料及び賃借料	170,000	0	170,000	125,000	45,000	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	20,000		20,000	16,685	3,315	
内 内 その他	150,000		150,000	108,315	41,685	
内 備品購入費			0	0	0	
内 図書購入費			0	0	0	
内 施設賠償責任保険	180,000		180,000	202,872	△ 22,872	
内 職員等研修費			0	8,179	△ 8,179	
内 振込手数料	60,000		60,000	33,672	26,328	
内 リース料			0	0	0	
内 手数料			0	0	0	
内 地域協力費			0	0	0	
内 公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税			0	0	0	
内 消費税			0	0	0	
内 印紙税			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
その他	1,000,000		1,000,000	1,076,570	△ 76,570	
事業費	600,000	0	600,000	705,568	△ 105,568	法人本部経費は含まれていない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	600,000		600,000	705,568	△ 105,568	
内 その他			0	0	0	
管理費	5,030,000	0	5,030,000	4,912,930	117,070	法人本部経費は含まれていない
内 光熱水費	1,500,000		1,500,000	1,363,413	136,587	
内 清掃費	1,550,000		1,550,000	1,704,978	△ 154,978	
内 機械警備費	120,000		120,000	114,708	5,292	
内 設備保全費	1,860,000	0	1,860,000	1,729,831	130,169	
内 空調衛生設備保守	1,750,000		1,750,000	1,668,480	81,520	
内 消防設備保守	80,000		80,000	35,281	44,719	
内 電気設備保守			0	0	0	
内 害虫駆除清掃保守			0	0	0	
内 駐車場設備保全費			0	0	0	
内 その他保全費	30,000		30,000	26,070	3,930	
内 共益費			0	0	0	
内 その他			0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	319,792	154,208	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	20,912,000	0	20,912,000	21,639,548	△ 727,548	
差引	963,474	0	963,474	△ 307,359	1,270,833	

自主事業費 収入	350,000	0	350,000	446,660	△ 96,660	
自主事業費 支出	600,000	0	600,000	705,568	△ 105,568	
自主事業 収支	△ 250,000	0	△ 250,000	△ 258,908	8,908	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	30,000	0	30,000	15,263	14,737	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	20,000	0	20,000	16,685	3,315	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	10,000	0	10,000	△ 1,422	11,422	

※各次項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「横浜市たまプラザ地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	32,388,431	0	32,388,431	31,246,812	1,141,819	横浜市より
内 受領額	32,388,431		32,388,431	32,388,431	0	
戻入額				△ 1,141,819	1,141,819	
指定管理料【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	100,000		100,000	100,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,950,532	0	4,950,532	3,852,738	1,097,796	横浜市より
内 受領額	4,950,532		4,950,532	4,950,532	0	
戻入額				△ 1,097,796	1,097,796	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	100,000		100,000	114,000	△ 14,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	8,000	△ 8,000	
雑入	6,000	0	6,000	4,057	1,943	
内 印刷代				0	0	
自動販売機手数料	6,000		6,000	4,057	1,943	
その他				0	0	
その他			0	0	0	
収入合計	37,694,963	0	37,694,963	35,475,405	2,219,558	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,650,000	0	31,650,000	28,254,110	3,395,890	法人本部経費は含まれていない
内 本俸	26,750,000		26,750,000	23,433,364	3,316,636	
社会保険料	4,250,000		4,250,000	3,645,931	604,069	
手当計			0	571,743	△ 571,743	
健康診断費	60,000		60,000	61,215	△ 1,215	
勤労者福祉共済掛金	40,000		40,000	32,375	7,625	
退職給付引当金繰入額	550,000		550,000	509,482	40,518	
その他			0	0	0	
事務費	1,490,000	0	1,490,000	1,464,796	25,204	法人本部経費は含まれていない
内 旅費	20,000		20,000	9,254	10,746	
消耗品費	300,000		300,000	136,087	163,913	
会議諸費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	200,000		200,000	242,774	△ 42,774	
通信費	400,000		400,000	478,386	△ 78,386	
使用料及び賃借料	185,000	0	185,000	197,715	△ 12,715	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000	4,435	565	
戻 入	180,000		180,000	193,280	△ 13,280	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	53,928	△ 3,928	
職員等研修費	10,000		10,000	30,531	△ 20,531	
振込手数料	15,000		15,000	29,945	△ 14,945	
リース料			0	0	0	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
内 消費税			0	0	0	
戻 入			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	300,000		300,000	286,176	13,824	
事業費	1,500,000	0	1,500,000	431,506	1,068,494	法人本部経費は含まれていない
内 協力医	630,000		630,000	42,000	588,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	500,000		500,000	52,095	447,905	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	100,000		100,000	117,800	△ 17,800	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000	69,611	50,389	
その他			0	0	0	
管理費	1,430,000	0	1,430,000	1,305,989	124,031	法人本部経費は含まれていない
内 光熱水費	400,000		400,000	362,426	37,574	
清掃費	450,000		450,000	453,222	△ 3,222	
機械警備費	50,000		50,000	30,492	19,508	
設備保全費	530,000	0	530,000	459,829	70,171	
空調衛生設備保守	500,000		500,000	443,520	56,480	
消防設備保守	20,000		20,000	9,379	10,621	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	10,000		10,000	6,930	3,070	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
修繕費	126,000		126,000	85,008	40,992	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていない
支出合計	36,196,000	0	36,196,000	31,541,389	4,654,611	
差引	1,498,963	0	1,498,963	3,934,016	△ 2,435,053	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	122,000	△ 22,000	
自主事業費 支出	870,000	0	870,000	389,506	480,494	
自主事業 収支	△ 770,000	0	△ 770,000	△ 267,506	△ 502,494	

管理許可・目的外使用許可に関する収入	6,000	0	6,000	4,057	1,943	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関する支出	5,000	0	5,000	4,435	565	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関する収支	1,000	0	1,000	△ 378	1,378	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市たまプラザ地域ケアプラザ

7年4月1日～ 8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,050	4,100	-50	8,800	7,950	850	19,000	22,049	-3,049			0			0
	その他	0	0	0	0	150	-150	2,000	134	1,866	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		150	-150	2,000	134	1,866			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	4,050	4,100	-50	8,800	8,100	700	21,000	22,183	-1,183	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	23,000	20,626	2,374			0			0
	事務費			0			0	2,200	2,576	-376			0			0
	事業費			0			0	500	442	58			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	2,500	2,285	215	5,600	5,617	-17	400	460	-60	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,500	2,285	215	5,600	5,438	162			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0		179	-179	400	460	-60			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	2,500	2,285	215	5,600	5,617	-17	26,100	24,104	1,996	0	0	0	0	0	0
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>1,550</b>	<b>1,815</b>	<b>-265</b>	<b>3,200</b>	<b>2,483</b>	<b>717</b>	<b>-5,100</b>	<b>-1,921</b>	<b>-3,179</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業		■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組みが求められる事業	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)		4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)			7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	「スマイルファミリー」	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て世帯が交流できる場を提供する。参加申込不要。お子さんを安全な環境で遊ばせながら、保護者同士の交流を図り、育児の不安や孤立解消を目指す。育児相談や公民保育園より後方支援をいただきながら運営していく。	3: 養育者及び乳幼児	3	・午前2時間、午後3時間の事前申込なしによる事業。(祝日も通常開催) ・入室状況、スマイル内でのイベントについては随時(X/旧Twitter)で発信する。	156	0	6,824	0
2	たまプラベビーマッサージ	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	母子の触れ合いは、親子の絆を育むかけがえのない時間となる。ベビーマッサージを通してリラックスしたり、講師や親子との交流の時間を持つ。 ・母子のスキップで血行を良くし、安眠へ促す。健康に育てる。 ・学びあいが交流する。	3: 養育者及び乳幼児	3	・年6回開催 各回1時間30分 8組定員 ・乳児とその保護者対象 ・ベビーマッサージの講義と実技。質疑応答。	6	0	79	0
3	あかちゃんのねんね講座	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	0～1歳児親子対象。 子どもの眠りについて学んだり、同年代の子どもを持つ親同士が同じ悩みを共有することで、気軽に話せる交流の機会とする。	3: 養育者及び乳幼児	3	・年5回開催 各回1時間30分 6組定員 ・産学(50分)+フリー(質疑応答や交流など30分) ・産学で眠りのメカニズムや生活リズムを整える大切さヒントを学ぶ ・フリータイムでは講師への質問タイムと、親同士の交流の時間を持つ	4	0	56	0
4	親子で楽しむおはなし会～わらべうたであかちゃんと遊ぼう～	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て中の母親と子どもの居場所づくりと交流・仲間づくり。親子のスキップの機会を作る。また、親子でのわらべうたや絵本との出会いを創出し、情緒を深める。	3: 養育者及び乳幼児	3	・年9回開催 各回1時間30分 12組定員 ・おはなし会(60分)+フリータイム(30分) ・おはなし会は読み聞かせ団体「おはなしあんころもち」による絵本の読み聞かせを主体に、親子で触れ合うわらべ歌やパネルシアター、紙芝居等で構成 ・フリータイムは、質問タイムや、子育てや絵本の選び方を聞くことのできる相談タイム、参加者親子同士の交流タイムで構成 ・講座内での内容を自宅でも試せるよう、おさらいの時間とわらべうたのレジュメ配布を行う	9	0	145	0
5	二人目ママのトークサロン@美しが丘子育てひろば	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	二人目以降が生まれた後の育児について気軽に語り合う会。一人目と違い、公的な集まりがない中、育児の悩みを抱えがちなママ達への孤立防止を目的とする。	3: 養育者及び乳幼児	3	・年1回予定 ・二人目、三人目が生まれた中で育児の工夫等を話し合い、情報交換する場。美しが丘民児協の協力の下、「子育てひろば」内で行う。	0	0	0	0
6	おやこでリズム	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	親子で音楽に合わせて身体を動かす。親子間のコミュニケーションを育むことを目的とする。また、閉じこもり予防、他者との交流のきっかけを作るための場の提供としての機能ももつ。	3: 養育者及び乳幼児	3	・年9回開催 各回30分で入れ替え制 ・12組定員 ・30分でストーリー仕立て。季節の歌や絵本を用いて体を動かす。	9	0	309	0
7	のんびりすごそうの会	令和6年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	学校をお休みしている小学生・中学生・高校生と保護者のための集まりの場(サードプレイス)をケアプラザで提供する。	4: 子ども・青少年	4.5	当事者とプログラムを考えながら、お茶とお菓子を提供。 ボードゲームやカードゲーム等を提供し、参加者同士交流をもてるような雰囲気づくりを心がけ、居心地のよい空間を構築する。 毎月第2(木)10:00～11:30に開催。	19	0	69	0
8	地域で紡ぐ音楽会(仮)		1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	・活動、発表の場を求めている団体のための場の提供を目的とする。また、団体間の交流を図り、地域のつながりと通う場を増やすことも狙いとする。	5: 地域	5	・年1回開催。フィアホール共催。 ・プロの音楽家と地域の音楽系団体との合同発表会	0	0	0	0
9	みんなで作る文化祭	令和元年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	当ケアプラザで貸館利用登録団体Ⅱに属する団体に対し、ステージ発表、作品展示、イベント運営等で関わっていただくことによって、団体同士やケアプラザに訪れる区民との交流を図る機会を提供するとともに、参加する団体Ⅱの福祉保健活動(ボランティア)の機会とする。	5: 地域	1.4.5	対象: 当ケアプラザを利用する登録団体Ⅱから参加を希望する団体 概要: 2025年11月16日(日)10:00～15:00 貸館利用登録団体Ⅱによるパフォーマンス作品展示 運営お手伝い および近隣地域の作業所等による軽食等販売 会場: ステージ発表が多目的ホール1 多目的ホール2 地域ケアルーム 作品展示として、ボランティアルーム、廊下を使用予定	1	0	426	0
10	貸館団体代表者会議	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	貸館ルールの再確認と団体同士の交流、福祉保健活動の相談機会の場として開催する。	5: 地域	5	上半期に1回開催予定	1	0	76	0
11	認知症予防カフェ「プラぶらっとカフェ」	平成26年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	認知症や集う場を持たず引きこもっている住民が誰でも集える場、症状進行の予防・症状の改善や薬用性機能低下の予防を図る場とする。また、地域を支える支え手(ボランティア)の活躍の場を提供し、地域住民の発案と運営にて開催しているようサポートする。	1: 高齢者	1.5	・毎月4金曜日 13:30～15:00で開催 ・地域住民(認知症の方やご家族または関心のある方)対象 ・定員: 40名	12	0	676	0
12	あたまカラダもスッキリたまプラトレーニング	令和6年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	介護予防の一環として、当CPを会場に一般高齢者に脳トレや体操を鍛えるトレーニングを行い、健康寿命を促進する。	1: 高齢者	1	・毎月2火曜日 13:30～14:30 ・地域住民(一般高齢者) ・定員: 25名	10	0	243	0
13	健康ボイストレーニング講座 声を出そう! みんなで歌おう!	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	フレイル予防の一環で、正しい姿勢で呼吸法を学び、声を出すことで口腔機能の改善・向上の促進を目指す。地域のシニアの居場所づくりや交流を図る。	5: 地域	1.5	・年9回開催 13:30～15:00 ・ストレッチで体をほぐし、腹式呼吸を学び声の出し方を学ぶ。課題曲を毎回季節に合わせて2曲ほど実践練習として唱和する。	9	0	336	0
14	子どもと若者の居場所を考える映画上映会(仮)	令和7年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	・不登校、生きづらさ、ヤングケアラー等、現代の子どもの抱える問題を地域で癒え話し合う場を作ることを目的とする。	5: 地域	4.5	・年2回開催 ・子どもと若者の図書館「ぶらに」共催 ・8月「夢見る小学校」1月「夢見る校長先生」上映 ・上映会の後不登校を経験した若者の体験談やトークセッションを開催	2	0	55	0

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組み	2: 発展させる	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2と3)		4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
15	てらこや講演会(仮)	令和7年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域内で目を背けがちな障害等の問題を専門家の講義により正しく周知することを目的とした講座	5: 地域	4.5	・年4回開催 ・放課後デイサービス「てらこや」共催 ・「自閉症について」地域で考えるフクシ「乳幼児期の発達」他1回開催	4	0	99	0
16	子どもの居場所づくりボランティア講座	令和6年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる	地域内の子どものためのサードプレイスを考え、サードプレイスを立ち上げることを目的とした講座	5: 地域	5	・年10回開催 ・地域内に必要なサードプレイスを考え、サードプレイスを立ち上げるための準備を行う ・また、既存のサードプレイスへの支援も同時に行う	5	0	17	0
18	火曜に団地でうたう会	令和6年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させる	・身体末端(手足の指先や口先)を動かすことで体温を上げて声を出しやすい体操・脳トレを行う ・季節の歌や懐かしい曲を歌うことで口腔機能の維持や、介護予防を目的とする ・開催場所をOP外(たまプラーザ団地集会所)に設定し、開催場所周辺の住民の「楽しい場所・違う場所」として定着させる。そこから地域の自主的な活動となるよう運営していく。	1: 高齢者		・声が出やすくなるウォーミングアップ(体操・脳トレ)と発声 ・季節の歌、童謡、参加者になじみの深い歌謡曲と楽譜の見方を学びながら新しい歌を覚えての歌唱、合唱 ・成果を発表する ・参加者全員で自主化を目指した運営方法や活動に取組む ・毎月第3火曜日 10:00~11:30 ・定員 25名	11	0	290	0
19	たまプラーザオレンジカフェinコミュニティコア	令和7年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	・認知症の正しい理解と本人や家族の思いを知ることで、理解不足や偏見のない、認知症に優しいまちづくりを目的とした「通いの場」を目指す ・高齢者が少いて行けるケアプラザ以外の場所に、家族以外の人の人との交流の場を定着させる ・認知症の本人や家族の「通いの場」として、チームオレンジの実践に取組む	5: 地域		・認知症を学ぶ・情報を伝えるミニ講座開催 ・家族以外の方のおしやべりを中心とした交流 ・体操、歌、脳トレ等の活動を行う(月替り) ・何でも相談。生活支援〇〇が事業内では相談を受けて、必要であれば包括や専門機関に連携して対応する。 ・毎月第4水曜日 13:30~15:00	5	0	54	0
20	よこはまシニアボランティアポイント研修会	令和7年度	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させる	・元気な高齢者がボランティア活動を行うことにより、本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた生きがいづくりを促進する ・地域でのボランティア活動に積極的に参加して頂くことによって、施設や地域のつながりが深まること	1: 高齢者		・既にボランティア活動をしている方対象の研修 ・5/16(木)10:00~11:30 定員10名 ・新しくボランティア活動を始める方対象の研修 ・5/29(金)13:30~15:30 定員10名	2	0	13	0
21	介護者家族の集い	平成30年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者家族を対象に、同じような介護の悩みや不安を抱えている人同士のピアカウンセリングや、日々の介護で役に立つ情報共有や交換、一時介護を離れて心身の休息(レスパイトケア)を目的として開催する。	7: その他		ミニ講和や茶話会を中心に開催。	5	0	24	0
22	わたしノート講座	平成30年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	横浜市高齢者保健福祉計画「介護保険事業計画」に位置付けられている「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」を目的に、「わたしノート」を手元に置いて実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活していくかを考えるきっかけづくり提供する。	1: 高齢者		高齢者の住まい、お金、遺言、認知症等のテーマに分けて実施。	4	0	122	0
23	認知症つながりシンポジウム2025	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	「9月世界アルツハイマー月間に向けた取り組みの一環として、2022年から継続して実施している「認知症つながりシンポジウム」を今年度も開催して、地域住民に向け、認知症の理解を深め、支援の関係を築きかけとする。	5: 地域		基調講演・シンポジウム 講師:長谷川 洋 氏 第1部(13:30~14:20) 基調講演「認知症専門医である父・長谷川和夫との関わりを通して(仮)」 第2部(14:30~15:30)シンポジウム 参加者(地域住民)との座談会形式で行い、地域で認知症の方を支える仕組みを考える	1	0	57	0